

「保護者学校評価」等をもとにした学園の対応について

秋涼の候、保護者の皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。日頃は、白川郷学園の教育活動にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、保護者の皆様による「学校評価アンケート」（1学期末）の数値結果（裏面参照）やご意見、学校職員による「グランドデザイン会議」（8月）、学校運営協議会の皆様による「学校評価アンケート」（1学期末）を受け、今後の学園の対応を検討いたしましたので、お知らせいたします。

今後も、教育目標「ひとちだち」に向けて充実した学校教育を目指してまいりますので、ご理解ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

【主な対応】

（1）『たくましく、自らの生活を律していける子』を育成します

「白川郷学園人権宣言」を大切に、即時指導や自らをふり返る指導を行うとともに、家庭や地域の方々と連携し、あいさつに関わる取組を試行錯誤しながら進めています。また、個々に合った適度な支援をしながら、子どもたちのレジリエンス（回復力・しなやかさ）を鍛えていきます。

<数値結果>

- 評価項目③「いじめ事案、不登校・不適応対応」 3.14
- ▲評価項目④「あいさつ」 2.72
- 評価項目⑦「あたたかい言葉」 2.9
- 評価項目⑧「安全で正しい登下校」 3.1

（2）『思考スキルを磨き、自らの学びを加速させる子』を育成します

学習スタンダード（基本的な学習習慣）の定着を図っています。また、効果的にICT機器を活用し、先を読む力を育てる授業改善や「みがき」の時間の工夫改善を継続するとともに、学校運営協議会と連携し、家庭学習の在り方を考えるなど、子どもたちの学びが加速するよう支援していきます。

<数値結果>

- 評価項目⑤「授業への意欲」 3.26
- ▲評価項目⑥「家庭学習」 2.64
- 評価項目⑭「一人ひとりを大切にした授業」 3.42

（3）『自分自身・学園・村のよさを自信をもって発信できる子』を育成します

夢や頑張っていることを自分の言葉で語れる子、村や地域の方々、家族に感謝の気持ちを伝えられる子を育てる取組をします。また、学校運営協議会と連携し、村民学の継続・充実を図るとともに、夢や希望に向かって努力している先輩から学ぶ機会をつくります。

<数値結果>

- 評価項目⑱「学園・学校行事の内容」 3.33

（4）『自らの健康に興味関心をもち、行動をおこせる子』を育成します

健康促進や体力向上、よりよい生活リズムづくりのため、青空タイムの「マラソン」活動など、定期的な運動の場を試行します。また、村保健安全委員会等との連携のもと、保育園とも協力しながら、「生活習慣形成（眠育・食育など）の指導を継続します。

<数値結果>

- 評価項目⑩「進んで運動・遊びに取り組んでいますか」 3.05

<伸ばしたい6つの力を高めるため、保護者として心がけていることやこれから心がけていきたいこと>

- ・話をよく聞き、問題があってもなるべく自分で解決できるように、気持ちに寄り添い前向きに考えられる声かけをしている。
- ・学校任せにせず、家庭でも子どもの話を聞き、子どものサポートをすること。
- ・帰宅したら、自分の就寝までの予定を立てさせている。必要最低限のことだけを言い、本人にやらせてみる。
- ・小さい頃にブレない生活習慣をつける。あいさつ、靴を揃える、片付け、基本的なことから毎日声をかける。
- ・遊びに来た子や近所の子には、こちらからあいさつをしたり声をかけたりしている。
- ・どんなに機嫌が悪くても、「おはようございます」や「ありがとう」などの声掛けはちゃんとするように伝えている。
- ・休みの日に運動を勧める。